
地域の取り組み・課題集

～ きずなづくりトークのまとめ ～

沢地小学校区編

—改訂版—



平成 27 年 3 月

三島市

凡例(各意見に印をつけて、いつ出された意見かわかるようにしています)

△：H23.06.14 テーマ「1 地域の防災力向上と被災時の対応」
「2 高齢者から子どもまで多世代の交流による活性化」

▲：H23.10.13 テーマ「1 地域の防災力向上と絆づくり～前会の議論を受けて～」
「2 ごみ問題と美しい地域づくり」

○：H24.05.25 テーマ「みんなでふれあい創出」

●：H24.10.22 テーマ「地域の防災力～みんなで何ができるか考えよう～」

◇：H25.05.27 テーマ「子どもの健全育成と高齢者が安心できる地域づくりについて」

◆：H25.11.05 テーマ「子どもの健全育成と高齢者が安心できる地域づくりについて」

□：H26.07.03 テーマ「防災訓練」「子どもの健全育成」「高齢者」

■：H26.10.27 過去の意見等を参考に関心の高いテーマに絞り、テーマ別のグループ会議を行いました。
テーマ「①防災体制の構築について(地域活動の効果的な周知方法を考えたい)」(P6 掲載)
テーマ「②下校時の見守り体制についてサポーターの裾野を広げる方法 & 地域で子ども会をサポートしていく方法を考えよう！」(P7 掲載)

◎：市の意見・回答
⇒：課題解決に向けた取り組み事例

(※担い手略称 自：自治(町)内会、民：民生委員、子：子ども会、老：老人会、健：健全育成会、体振：体育振興会、保委：保健委員)

	課題	担い手
防災訓練	①訓練内容・開催時期	<p>●高齢化が進んでいる。訓練内容や訓練実施時期の見直しが必要。</p> <p>◎9月の訓練だと中学生は部活があり参加しにくい。中学生の参加を募るには、部活動の少ない12月に校区全体で訓練日を統一してほしいという声もある。</p> <p>●自主的に取り組める訓練、実践に即した訓練をやりたい。</p> <p>●他の町内がどんな訓練をやっているのか知りたい。</p> <p>□地域や隣近所で必要な地域の実状にあった訓練を考える。(土砂災害等など)</p> <p>⇒◆「黄色いハンカチ」を全戸配布。(千枚原)</p> <p>⇒◆「黄色いハンカチ」を全戸配布し、子どもと高齢者の調査実施。自治会独自の住民台帳を作成した。(光ヶ丘3丁目)</p> <p>◎「黄色いハンカチ」は家族が無事だというしるし。安否確認で町内を効率的に回ることが出来る。訓練時から活用してほしい。</p> <p>□多くの人がAEDを使えるように、設置場所の確認・使用法の訓練を行うべき。</p> <p>◎倒壊した建物から人を救出・救助・搬送するのは、地域の人達。そういったことに備えた訓練をしてほしい。</p> <p>●子どもを参加させるには、子どもの意見を取り入れることが大切。</p> <p>◆消防団も模範的な活動を行いたい。</p>
	②要援護者の支援	<p>○高齢者の支援は自治会と民生委員の協力が大事。</p> <p>●高齢者の避難は難しい。自宅待機、近所のしっかりした家の近くに集まるなど、避難方法の検討が必要。(光ヶ丘3丁目)</p> <p>□日中昼間は高齢化率が上がる。災害が発生した場合はどうするのかという訓練、シミュレーションが必要ではないか。</p> <p>●◇□個人情報保護法もあり災害弱者を全て把握できない。対策が必要。</p> <p>◇独居老人の情報は大切。ぜひ町内で把握してほしい。</p>

	課題	担い手
	<p>③防災体制の整備・強化</p> <p>⇒●市の防災コーディネーターに来てもらい、危険マップをもとに避難誘導の検討をした。(富士ビレッジ)</p> <p>○連合体としての防災への取り組みや対策を協議していきたい。</p> <p>●□日中災害が発生した場合、会社員は外出している可能性が高い。家にいる子どもやお年寄りが地域の力になるしかない。対策が必要。</p> <p>▲廃油でキャンドルと防災カンテラが作れる。自治会の総会等で簡単な講座を開けば、家庭単位で知ってもらえるのでは。</p> <p>●食料の備蓄は自治会単位ではできない。各家庭での用意が基本。</p> <p>○防災機器が故障し使えない。補修のための補助金を増やしてほしい。</p> <p>◎AED の設置については、町内会で相談して集会場に置く、小児科などに設置をお願いに行くなど、検討してほしい。</p> <p>◇8 町内で話し合う体制ができています。消防車・救急車が来られない場合を想定し、地域全体で考えていく必要がある。</p> <p>→【■①テーマ別会議(P6)に発展】</p> <p>⇒□8 町内合同の避難所運営訓練を実施。各自主防災会から 5~6 名選出し、会合を重ね訓練内容を検討、実際のシミュレーションを行う予定。</p>	<p>校区全体</p> <p>校区全体</p> <p>自</p> <p>校区全体</p>
	<p>④幼稚園・学校の防災体制</p> <p>●学区外から通園している子どももいる。保護者が来るまで幼稚園で子どもを預かる体制作りが必要。</p> <p>●登下校時に震災が起こった場合の子どもの行動を、学校・保護者で考え、理解していく必要がある。(沢地小・PTA)</p>	<p>幼</p> <p>小・小 PTA</p>
子どもの健全育成	<p>①子どもの見守り</p> <p>⇒◇見守り隊が校区全体で見守り活動実施。</p> <p>◇◆□下校時は見守り時間が長く、また見守りの方も少ない。下校時の見回りをどうにかして広めたい。</p> <p>→【■②-1 テーマ別会議(P7)に発展】</p> <p>□大人の目を多くすることが犯罪抑止力になる。気軽に参加してもらい、ゆるいやり方もある(犬の散歩のついで等)。アピールをどの様にすればよいのか。</p> <p>□帽子や腕章など、校区で統一した方がいいのではないかな。</p>	<p>見守り隊</p> <p>校区全体</p>
	<p>②子どもと地域の交流</p> <p>⇒◆祭りや子ども会行事では地区を越えた校区でのつながりがある。</p> <p>□大人も子どもも両方ハッピーになる交流が地域で盛んになればいいと思う。</p> <p>○6 町内会で運動会実施。参加すると楽しく運動しているので、無理やりでも参加してもらったほうが良い。子どもを出席させれば、親も来ると思う。</p> <p>⇒○運動会へ子どもの参加を促すため、子ども会と役員会実施。</p> <p>○◇◆運動会参加者が減少している。もっと宣伝していきたい。</p> <p>□地域活動の周知方法を少しずつ改善しないとイケない。回覧板は親が見るだけ。まず親世代を巻き込み、子どもも巻き込んでいく方法がいいと思う。</p> <p>◎運動会では健全育成会や保健委員との連携を考えると広がりが出る。</p>	<p>老</p> <p>自・体振</p> <p>体振</p> <p>各団体</p>

	課題	担い手
	<p>○子どもが地域とつながる場を作っていきたい。</p> <p>○◇地域の方との交流は、地域を愛するベースになる。地域の方を講師として学校に招いたり、地域に子どもを送り出していきたい。</p> <p>◆地域住民との交流に、豊かな自然環境(ホテル等)も活かしたい。</p> <p>□暇になってきた団塊世代の方を活用し、子どもとの交流の場を増やしていくことは重要(学校支援地域本部など)。地域の活性化にもなる。</p> <p>◆「子育て支援ボランティア事業」で、園にボランティアの方が来てくれて非常に助かる。活動を広く知らせてほしい。(光ヶ丘保育園)</p> <p>□もう少しオープンにして、多くの地域の方が参加できる仕組みがあるといい。</p> <p>□地域の交流の場を図にすると、色々な集まりがあり、全体像がわかると思う。この団体はこの団体と一緒に活動してみようなど、発展があるかもしれない。</p> <p>□子どもができるボランティア活動のニーズや受入れ側の情報がわかるといい。</p>	<p>小</p> <p>保</p> <p>各団体</p>
	<p>③子ども会の 存続</p> <p>⇒○子ども会がなくなり、「子どもの会」を作った。(光ヶ丘3丁目)</p> <p>○各町内会と相談し、広域で交流できる活動を考えたい。</p> <p>○◇□子どもは減少し共働き世帯は増加する中で、母親にとって役員の負担が非常に大きく、子ども会の運営はとても大変。役員の負担を軽減できないか。 →【■②-2 テーマ別会議(P7)に発展】</p> <p>□子ども会役員は大変だが、子どもには色々なことを経験させてあげたいという葛藤の中、活動中。</p> <p>◎老人会に子どもを預けるなど、子ども会と他団体との連携が重要。</p> <p>◇廃品回収は子ども会の大切な資金源。協力をお願いしたい。</p> <p>⇒◇今年はいじめて子どもポータルサイトを活用し、市全体の子ども会活動をPRする。(三島市子ども会連合会)</p> <p>◇子ども会活動をPRし、もっと地域住民と子どもたちがふれあえる活動を組み込んでいけるといい。(三島市子ども会連合会)</p>	<p>自・子</p> <p>各団体 校区全体</p>
高齢者	<p>①高齢者の見 守り体制</p> <p>◆高齢者の見守り方法は、近所の気遣いや組長による回覧版の手渡しなどの意見があがった。検討していきたい。(沢地)</p> <p>⇒◆見守り内容を示したちらしを全世帯へ配布。(富士ビレッジ)</p> <p>◇□沢地地区は高齢化が進んでいる。民生委員と町内会の連携が必要。</p> <p>◇民生委員、自治会、地域包括支援センターが柱となり、警察と連携を取りつつ、高齢者を見守りたい。(富士ビレッジ)</p> <p>◇地域包括センターに頼んで認知症や高齢者に関するセミナーを開き、住民の方に意識を持ってもらいたい。(富士ビレッジ)</p> <p>⇒◆各組長が高齢者を把握している。(光ヶ丘1丁目、富士ビレッジ)</p> <p>⇒◇◆トーク後、高齢者の把握調査を開始した。(沢地)</p>	<p>自</p> <p>自・民 各団体</p>

	課題	担い手
地域の連携	<p>②高齢者の地域交流</p> <p>◇トリム事業を高齢者の健康づくり・きずなづくりの場として利用するよう、各町内会でPRしてほしい。</p> <p>◆お年寄りに昔の遊びや戦争体験などを話してもらおうと、子ども達にとってプラス。小学校でふれあいの場を設置したい。</p> <p>◆「ほほえみサロン」へのお年寄りの参加を増やしたい。(民生委員)</p> <p>◆□高齢者のひきこもり対策で大事なことは、サロンなど集まる場があることと、その情報を発信し続けること。(参考:若松町の集会場や芙蓉台の食事会等)</p> <p>⇒□月に一度のコミュニティカフェを始めた。平均約30人が参加。(富士ビレッジ)</p>	<p>自・体振</p> <p>小</p> <p>民</p> <p>自</p>
	<p>③老人会の活動</p> <p>◇老人クラブは、個人で選択できるプログラムがあると良いのでは。</p> <p>⇒◇子ども会と行事(輪投げや踊りなど)を通じ交流。(光ヶ丘白光会)</p> <p>⇒◆自治会役員と老人会の横の連携ができています。(千枚原千寿会)</p> <p>□各地域で老人会が解散する中、サークル・趣味の集まりも大切ではないか。</p> <p>⇒□老人会に代わるサークルを作り、気軽な交流を実現。(富士ビレッジ)</p>	<p>老</p> <p>自・老</p>
	<p>①連携・仕組みづくり</p> <p>○◆留守家族、町内会を抜きたい世帯、空き家の増加が課題。</p> <p>◇若い世代と地域のきずなを作り、子育てしやすいまちを作っていくべき。自治会役員の世代交代を図りたい。まずは若い人に役員会等に顔を出してほしい</p> <p>⇒◇各組長が組を把握し、その情報を活用している。(千枚原)</p> <p>⇒◇火事の際、隣近所で連携が取れていた。(富士見台)</p> <p>◇サークル活動の全会長が集まった。中心になる方を決め、相談できる体制を築き、活動を活発化させていきたい。(富士ビレッジ)</p> <p>□子ども会も老人会も地域に必要な組織だし、皆交流したいと思っているが組織から抜けていく。何故抜けるのか、行政も含め考えて配慮できれば良い地域になる。</p> <p>□もっと自分達で気楽に、地域の特色を持ってやれる仕組み・組織の在り方を見直してはどうか。</p>	<p>自</p> <p>校区全体</p> <p>各団体</p>
<p>②広域の活動</p> <p>◇◆どんど焼きなど8町内で協力してできることを検討中。少しずつ積み重ねていき、最終的に夏祭りが開催できれば一番いい。</p> <p>⇒◆沢地地区を巡るウォークラリー大会や、4校区のソフトバレーボール大会を開催予定。校区を超えた交流の良い機会。</p> <p>△地域の行事日程は予め分かっているので、その日にクラブチームの試合やイベントは重ならないよう配慮してほしい。</p>	<p>校区全体</p> <p>校区全体</p> <p>体振</p>	

■H26. 10. 27 テーマ①「防災体制の構築について考えよう！（地域活動の効果的な周知方法を考えたい）」

（テーマ①班：参加人数7人）

●「地域活動の効果的な周知方法」の話し合いから、「沢地地区の防災体制の構築(情報の周知、地域の連携、避難所運営等)」へと話が発展しました。

保育園へ防災会議の通知が一切ない！いざという時とても不安

保育園が「災害弱者の避難所」であることが周知されていない・・・？

土砂災害で幼稚園舎が埋まる不安がある

光ヶ丘保育園

- ・園と地域のつながりが少ない
- ・地区防災の会議や訓練の情報がほしい



- ・園の活動内容を回覧板で地域に周知
- ・町内会からも情報を幼・保に回していく

光ヶ丘町内会

- ・保育園は「災害弱者中心の避難所」だと初めて知った
- ・園が「災害弱者の受け入れ」をするならば、光ヶ丘町内会全体の問題



- ・要援護者支援のことも含め、光ヶ丘町内会と保育園で話し合いたい

今後、連携を深める必要あり

佐野地区防災会議

- ・年2回防災会議開催
- ・日中はお年寄りと子どもが多い⇒保育園や老人会に会議通知がないのは問題



- ・自治会連合会へ保育園や老人会の防災会議への参加要請を行なう(参加が新たなふれあいの機会になる)

連携が必要だが、まずは各町内会の体制作り

各町内会

- ・現在の防災会は町内会会長が「防災会会長+町内会会長」の2足のわらじ⇒うまく機能していない
- ・足元(町内)を固めてから校区の防災を考えるべきでは？



- ・各町内会で防災専門組織を作るべき
- ・まず任期年数を長くすることから

そもそも災害弱者に関する話し合いがない。災害弱者の現状は？

- ・要援護者台帳は町内会長と民生委員が把握
- ・要援護者多数⇒全員救助は無理
- ・本当に支援が必要な人を差別化
- ・支援にはある程度個人情報が必要

学校側の都合を知る防災委員がいないと混乱 ⇒小学校との連携が大切

できるところから連携し、沢地地区の防災体制を強固なものにしていこう！



幼稚園

- ・緊急時はお寺に避難
- ・水・軽食・保温シートなどを備蓄
- ・通園範囲が広く宿泊の可能性あり



- ・緊急時の宿泊準備なども必要

中学校

- ・中学校の通学範囲は広い
- ・在校時災害発生⇒対応可
- ・学校外で災害発生⇒地域にお任せ

◎中学生の役割

- ・高齢者が多いので力仕事助かる
- ・小学校のことをよく知っているので、指示しやすい

★訓練時中学生が大活躍！

- ・今年は事前に「訓練に参加しなければハンコを押さない」ことを町内で徹底/当日も放送⇒参加多数
- ・訓練時、備蓄品を搬出⇒中学生が運搬等のお手伝い⇒非常に戦力になった

証明書をもらいに来る中学生は年々増加

★今年から避難所運営専門の防災役員スタート！

- ・「避難所専門の防災役員」を各町内会から1～5人選出(現在20名ほど)
- ・防災委員で避難所運営訓練実施(校区の防災訓練とは別。体育館に宿泊)
- ・役員には最低3年間の任期を依頼
- ・防災会議・組織が整っていると安心



毎年、防災役員を増やし、避難所運営のプロ集団を結成していき

★避難所の体制は？

- ・継続して役員が行けるとは限らない
- ・防災役員中心は最初の三日間程度
- ・被災後は、徐々に避難者中心の運営に
- ・土砂災害警戒地域の方は避難所生活の可能性が高い⇒該当者に運営サポートを依頼しては？
- ・最終的に避難者自身に避難所の運営をしてもらうことが目標



避難所運営のガイドライン(避難エリアや物資の保管場所等)決定と周知が必要

■H26. 10. 27 テーマ②「下校時の見守り体制(サポーターの裾野を広げる方法) & 子ども会をサポートしていく方法を考えよう！」

(テーマ②班：参加人数9人)

【見守り(パトロール)の現状】

- ・駅前交番が青パトで、防犯パトロールを行っているが、範囲が広く限界がある。
- ・登校時間の見守りボランティアはある程度いるが、下校時は少ない。

各町内に
見守りのサポート
体制を作りたい！



サポーターの裾野は

なぜ広まらないのか？

- ・現役世代、親世代は忙しい。
- ・面倒くさい。
- ・見守りサポーターの事を知らない人が多い。
- ・きっかけがない。関わる入り口を知らない。
- ・下校時間が学年によってばらばらで、時間が長いので、合わせるのが難しい。
- ・組織での引き継ぎができていない。役員の任期が短い(1年)ことが、一つの原因。

■パトロールのやりがいもある

- ・子どもから元気もらえる。
- ・子どもからあいさつがある。うれしい。

★「やりがい」を皆に伝えよう!!

見守りサポーターを広げる為に
どうしたらいいのか？



★情報発信

- ・いろいろな形で広報活動して、1人でも多くの人に知ってもらおう。
- ・口コミ。知り合いから広めていく。
- ・学校行事や町内行事で伝える。
- ・地域や学校からのアナウンス
- ・まずは自分がやってみて、周りに伝える。

★各町内でサポート会員を募る

- ・家庭配布は回覧版(書面)だと見ない。人から人へ声かけで行うようにする。
- ・サポーターになりうる人達を集め説明会をする。
- ・孫や子どもがいなくても、子どもが好きな方や話が好きな方、誰でも参加できるようにPRする。

★パトロールのやり方を工夫する

⇒「ついで」のパトロール

- ・下校時(コース)の時間に合わせ、老人等ウォーキングで見守る。
- ・犬のお散歩仲間に広げる。夕方、散歩中に腕章をつけてもらうなど。
- ・あいさつ運動から徐々に広げていく。

★組織内の引き継ぎをしっかりと行う

- ・担当者(役員)による管理をしっかりと。

【子ども会の現状と意義】

- ・子ども会は子どもと地域の大人を結びつける為に必要な存在。
- ・子ども会へ市からの要請が多すぎ、負担。
- ・負担が多く、地域の協力がないと成り立たない状況。

「子ども会のサポート体制」を考えると、「下校時の見守り体制」につながる。
⇒これらの活動を通じ、皆が顔を合わせることで、地域活動やボランティアの「効果的周知方法」の解決に繋がると思う。全てはつながっている。

子ども会をサポートする為に
どうしたらいいのか？



★情報交換

- ・包括支援センターでは予防講座をする時に、高齢者が集まるので、子ども会とコラボして高齢者にサポート講座を開催することができる。(特に北上地区は学びたいという高齢者が多い)←子どもや幼稚園児が、お年寄りと接する機会として活用したい。
- ・地域に手助けしたいと思っている人は多いが、活動を知らない。情報交流できる場や機会が必要。
- ・積極的にアプローチをしよう！

★イベント・行事の合併

- ・老人会との交流
- ・学校の運動会と校区祭の合併
- ・子ども会と町内会の合同会合。話し合いの場を持つ。

学校地域支援本部：地域が学校を支援していく組織。各町内でサポートしていこうと話を進めている。皆が協力し合い連携していけば輪が広がり、色々な事ができる。本日のテーマも解決できると思う。

補足資料

きずなづくりトークの意見まとめ

これまでの「きずなづくりトーク」で皆さんから出していただいた地域の現況・課題を整理しました。

※平成 23～26 年度 沢地小学校区きずなづくりトーク参加団体一覧

自治（町内）会	各種団体	幼・保・小
光ヶ丘 1 丁目町内会 光ヶ丘 3 丁目町内会 光ヶ丘 県営住宅自治会 光ヶ丘 市営住宅自治会 千枚原町内会 沢地町内会 富士ビレッジ自治会 富士見台自治会	環境美化推進委員会 保健委員会 民生委員児童委員協議会 消防団第 3 分団 消防団第 4 分団 北上女性学級 中央婦人学級 交通安全母の会 地域づくりコーディネーター エコリーダー 地域包括支援センター	光が丘保育園 沢地幼稚園 沢地幼稚園 P T A 沢地小学校 沢地小学校 P T A 北中学校 P T A 学校支援地域本部
老人クラブ	スポーツ関係	子ども会
光ヶ丘白光会 千枚原千寿会 ふじみ会	スポーツ推進委員会 沢地小学校区体育振興会 体育指導員会	光ヶ丘一丁目子ども会 沢地子ども会 富士ビレッジ子ども会 富士見台子ども会 三島市子ども会連合会

（平成 23 年度は「地域づくり市民会議」の名称で開催しています）

凡例(各意見に印をつけて、いつ出された意見かわかるようにしています)

△：H23.06.14 テーマ「1 地域の防災力向上と被災時の対応」
「2 高齢者から子どもまで多世代の交流による活性化」

▲：H23.10.13 テーマ「1 地域の防災力向上と絆づくり～前会の議論を受けて～」
「2 ごみ問題と美しい地域づくり」

○：H24.05.25 テーマ「みんなでふれあい創出」

●：H24.10.22 テーマ「地域の防災力～みんなで何ができるか考えよう～」

◇：H25.05.27 テーマ「子どもの健全育成と高齢者が安心できる地域づくりについて」

◆：H25.11.05 テーマ「子どもの健全育成と高齢者が安心できる地域づくりについて」

□：H26.07.03 テーマ「防災訓練」「子どもの健全育成」「高齢者」

■：H26.10.27 過去の意見等を参考に関心の高いテーマに絞り、テーマ別のグループ会議を行いました。
テーマ「①防災体制の構築について(地域活動の効果的な周知方法を考えたい)」(P6 掲載)
テーマ「②下校時の見守り体制についてサポーターの裾野を広げる方法 & 地域で子ども会をサポートしていく方法を考えよう！」(P7掲載)

◎：市の意見・回答

(※担い手略称 体振会：体育振興会、健育会：健全育成会、市子連：三島市子ども会連合会)

現況	課題	担い手	結果・実績
1. 防災訓練			
①訓練内容・開催時期			
<ul style="list-style-type: none"> ●高齢化が進んでおり、訓練は活発ではない。震災時の行動計画書を作成中。(光ヶ丘 1 丁目) □9/1 は炎天下の中なので訓練時期を見直すべき。 ●暑い時期に行なった。高齢者が多く大変だったが、例年より多い 130 名の参加があった。(富士ビレッジ) 	<ul style="list-style-type: none"> ●□訓練内容、訓練実施時期の見直しが必要。 ◎9月1日は「防災の日」、12月最初の日曜日が「地域防災の日」。9月の訓練だと中学生は部活があり参加しにくい。長伏などは12月に訓練を実施。中学生の参加を募るには、校区全体で訓練日を統一してほしいという声もある。 	<p>自治会</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ●今年 1000 人越えの参加があった。震災で関心が高まった。(富士見台) □今までのように地域で一斉に同じ訓練をするのではなく、地域で必要と思われる訓練をやっていくのはどうか。 ●◇◆毎年同じような訓練実施。「黄色いハンカチ」を10月に全戸配布した。(千米原) ●◇◆1回目のトーク後「黄色いハンカチ」を全戸配布した。配布時に子ども・高齢者の調査を行ない自治会独自の住民台帳を作成。(光ヶ丘 3 丁目) □子どもが運動会で倒れたり、高齢者が倒れた等、一刻を争う場合が多いので、なるべく多くの人が AED を使用できるようになることが必要だと思う。 ◎消防団は消火活動を行う。救急車は三島市内に4台のみ(人口3万人に1台)。阪神淡 	<ul style="list-style-type: none"> ●もっと自主的に取り組める訓練・実践に即した訓練をやる必要がある。 ●他の町内がどんな訓練をやっているのか知りたい。 □地域や隣近所で必要な、地域の実状にあった訓練内容を考える。 □千米原は高台にある。山崩れなど過去にはないが、もしあったらどうなるのか、そういう実践的な問題を考えていきたい。 ◎「黄色いハンカチ」は家族が無事だという目印。安否確認で町内を効率的に回ることが出来る。活用してほしい。 □AED 設置場所の確認、使用方法等を防災訓練の一環としてやるべきだと思う。 ◎現在、AED の設置場所、使用法はスマホでわかる。AED 訓練を防災訓練で取り入れてほしい。 ◇沢地校区は火災と建物倒壊が問題。 ◎倒壊した建物から人を救出・救助・搬送するのは、地域の人たち。そういっ 	<p>自治会</p> <p>市</p> <p>自治会</p> <p>自治会</p>	<p>⇒◆「黄色いハンカチ」を全戸配布。</p> <p>⇒◆「黄色いハンカチ」を全戸配布し、子どもと高齢者の調査を実施、住民台帳作成。</p>

現況	課題	担い手	結果・実績
<p>路大震災の時には、8m以下の道路は全て通れなかった。</p>	<p>たことに備えた訓練をしてほしい。</p>		
<p>●参加者が例年より増え、特に子どもの参加が増えた。子ども達は消火器訓練実施。(光ヶ丘3丁目) ◆小中学生は訓練に参加することで防災意識が向上する。(消防団)</p>	<p>●子どもを訓練に参加させるには、子どもの意見を取り入れることが大切。 ◆消防団も模範的な活動を行いたい。</p>	<p>自治会 消防団</p>	
②要援護者の支援			
<p>○75歳以上が280人いる。(富士ビレッジ) ●75歳以上が100人もいる。全体の20%は高齢者。高齢者は避難が容易ではない。今後の高齢者の防災対策が気になり。(光ヶ丘3丁目) □多分、どこの地域も昼間は高齢化率が非常に上がってしまう。</p>	<p>○高齢者の対策を民生委員と協力して行なっていきたい。 ●自宅待機、近所のしっかりした家の近くに集まるなど、避難方法の検討が必要。 □日中昼間、災害が発生した場合はどうするかという訓練、シミュレーションが必要ではないか。</p>	<p>自治会 民生委員 自治会</p>	
<p>◇要援護者リストは情報を教えてもいいという方だけなので、実際は更に多いと思う。(光ヶ丘3丁目) □今年会長になり、引き継ぎで要援護者の名簿を頂いた。厳重に「取り扱い注意」となっていて、会長と自主防災委員長しか知らない。口頭で町内会役員だけでは伝えてあるが、二人しか知らない状況では何もできないと思う。 ◇阪神淡路大震災では近所の人の情報があつたおかげで、何人もの高齢者を救えた。ご近所、専従の方が情報を持っていると、緊急時の活動源になる。</p>	<p>◇□自治会では個人情報保護法もあり、全ての災害弱者を把握できない。対策が必要。 ◎要援護者リストを活用して、各町内、自主防災会で要援護者をどうサポートしていくか、体制づくりを進めてほしい。救助は必要ないと申し出た方のリストは、封をして自治会長に渡すので、災害発生時に封を開けて安否確認をしてほしい。 ◇独居老人の情報は大切。ぜひ町内で把握して欲しい。(消防団)</p>	<p>自治会 市 自治会</p>	
③防災体制の整備・強化			
<p>○防災の取り組みは各校区でしっかりやっている。 ●□会社員で昼間は外出している人が多い。また、遠方まで通っていて、災害時、帰宅できないケースもある。 ●市の防災コーディネーターに来てもらい、危険マップをもとに避難誘導の検討をした。急傾斜地の個別の被害想定はできないのか。(富士ビレッジ) ●消防団は後方支援の役割を担っている。各自主防の意見を尊重しながら支援できれば良いと思っている。</p>	<p>○連合体としてどうしたらよいか話し合いたい。 ●□家に残っている子どもやお年寄りが地域の力になるしかない。対策が必要。 ◎傾斜地等の被害は自然現象なので想定は困難。臨機応変に適切な対応をする必要がある。</p>	<p>自治会</p>	<p>⇒●市の防災コーディネーターと避難誘導の検討実施。</p>
<p>▲家庭単位の防災力向上のアイデア。廃油でキャンドルと防災カンテラが作れる。 ●団地なので建物の耐震補強は難しい。簡易トイレの準備や、冬場の震災に備えてアルミシートを用意している。(光ヶ丘県営住宅) ○防災訓練の道具が故障などで使えなくなってしまう。 ●法律で消火器の使用期限が10年になった。消火器の交換にお金がかかるが町内会で賄いきれない。 ◎市で消火器の補助金が出るので、活用してほしい。</p>	<p>▲総会等でキャンドル製作など簡単な防災講座を開けば、家庭単位で知ってもらえるのでは。 ●食料の備蓄は自治会単位ではできない。各家庭・個人での用意、対策が基本。 ○道具の補修のための補助金を増やしてほしい。</p>	<p>自治会 校区全体 市</p>	

現況	課題	担い手	結果・実績
<p>□地域に AED の設置数を増やしてほしい。</p>	<p>◎町内会で相談して、集会場に置く、小児科などに設置をお願いに行くなど、検討してほしい。</p> <p>◎市民体育館に AED は 3 台あるので、スポーツ大会の時などには借りてほしい。</p>		
<p>●8 町内会でアンケートを実施し、みんなで考える体制ができている。今後、8 町内会で意見交換する予定。</p> <p>●電気・ガス・水道などのライフラインが心配。</p> <p>●自治会館には防火水槽があるが、飲料水として利用できない。</p> <p>●沢地地区は水脈があるので水が豊富。</p>	<p>◇消防車、救急車が来られない場合を想定し、8 町内で対策を考えたい。</p> <p>◎被害想定の中に電気・ガス・水道のことが書かれているので参考にしてほしい。</p> <p>◎水道の耐震化は進んでいないので各家庭の水の備蓄が重要。</p> <p>●8 町内会でお金を集める、市の援助を受けるなどして井戸を掘りたい。市でボーリングなどを実施してほしい。</p> <p>◎井戸は掘り賃がかかる。今後研究していきたい。</p>	<p>校区全体</p> <p>校区全体 市</p>	
<p>□昨年、前年度の自治会長を中心に、校区で避難所運営の別部隊を作ろうという案が出た。</p> <p>□ペーパー上では避難所のシミュレーションができているが、実際に訓練をしたことは一度もない。避難所で実際にシミュレーションする訓練を考えている。</p> <p>□人口が減り、高齢化になっていて、組織の衰退が著しい。今まで一生懸命やってきた人が、さらに新体制を背負って立つのかと非常に疑問、心配。自主防災会はどうなるのか。</p>	<p>□8/24に8町内合同で避難所(沢地小体育館)運営訓練を行う予定。各自治会長は町内のことに関わるため避難所にはいないので、各自主防災会から 5~6 名選出し、会合に出てもらい話を進めている。8/24 は実際に避難所に入って、どれぐらい場所をとるかなどの訓練をやる予定。</p> <p>□避難所の収容人数や、何をすべきか不明なことばかり。8/24 にやることは一歩かもしれないが、積み重なっていけば、色々なことが分かり、色々な方向性が見えてくるのではと期待している。</p>	<p>校区全体</p>	<p>⇒□8 町内合同の避難所運営訓練を実施。</p>
④幼稚園・学校の防災体制			
<p>●学区外から通園している子もいる。保護者が無事に迎えに来られるのかという問題もある。的確な状況判断が難しい。(沢地幼稚園)</p> <p>●昨年、校舎の耐震工事を行った。タンクもある。子どもが学校にいるときは安心。(沢地小)</p> <p>●9 月の防災訓練の前に、地域の人と 2 回話し合いの場を設置。(沢地小)</p> <p>●3.11 の時、子ども達は沢地小にいた。引渡し完了は 19:30 だった。</p> <p>●家、学校以外のグレーゾーンにいるときが一番心配される。(沢地小)</p>	<p>●保護者が迎えに来るまである程度の期間、幼稚園で子どもを預かる体制作りが必要。</p> <p>●実践的な訓練が必要。</p> <p>●グレーゾーンにいるときを考慮した訓練を行いたい。</p> <p>●登下校時に震災が起こった場合の子ども達の行動を、学校で教えてほしい。(PTA)</p>	<p>幼稚園</p> <p>小学校</p> <p>小学校 小 PTA</p>	
2. 子どもの健全育成			
①子どもの見守り			
<p>◇校区全体で、曜日を変えて見守り活動実施。(光ヶ丘 1 丁目)</p> <p>◇卒業式の前日、見守り隊の方が通学路の草むしりをしてくれた。見守り隊には大変お世話になっている。</p> <p>◇子ども同士声かけをしている。大人の行動が子どもに伝わっていると思う。</p> <p>◇通学路に立ち見守りをしている。子どもと挨拶していると、元気をもらえる。名前を少しでも覚え、会話するようにしている。(千米原)</p>		<p>見守り隊</p>	<p>⇒◇見守り隊が校区全体で見守り活動実施。</p>

現況	課題	担い手	結果・実績
<p>◆□見守りに関して、散歩している人達にも声をかけたがなかなか承してもらえない。難しい。(光ヶ丘1丁目)</p> <p>□下校時の見守りを15年程やっている。現在は非常に少ない。今年2名増えたので、少しは良くなった。</p> <p>□富士ビレッジも朝は4名出てくれているが、帰りは2名</p> <p>□自治会長をしていた4年程前、倉庫に帽子や腕章が多数あったので、犬の散歩時などに身につけるよう呼びかけたところ、10人ほどの応募があった。「朝や下校時必ず立たなくていい、ゆるやかに」ということで、しばらく続いていたが、その名簿を沢地小に提出したところ、学校から色々な案内が来て、荷が重くなり大変だという問題があった。今は確実に立ってくれている人の名簿だけ沢地小に提出している。</p>	<p>◇◆□下校時は見守り時間が2時間と長く、また見守りの方も少ない。下校時の見回りをどうにかして広めたい。</p> <p>□他県で子どもへの事件があった頃、自治会の回覧で「特に下校時の見守り」の要請をしたところ、1人参加してくれた。そういう方法も可能。</p> <p>□大人の目を多くすることが犯罪抑止力になる。気軽に参加してもらい、ゆるいやり方もあるのではないかな。</p> <p>□「気軽な気持ちでやる」ことが、細く長くやっていく上で必要だと思った。それをどのように皆さんにアピールしていけばいいのかな。</p> <p>□「もしかしたら自分もできるかな」というくらいの気持ちで、まずやってみることが1つの秘訣かと思う。</p> <p>□帽子や腕章など、校区で統一した方がいいのではないかな。ばらばらだと、それらしい帽子を被っているのを見て、子どもは安心してしまう。逆に誘拐の手段とされる可能性がある。</p>	<p>校区全体 見守り隊</p> <p>自治会</p> <p>校区全体</p>	
②子どもと地域の交流			
<p>◆毎夏、富士見台、光ヶ丘、千枚原の夏祭りに消防団も参加。子ども達は地区を超えて来る。校区のつながりができていると感じる。(消防団)</p> <p>◆「子どもは地域の宝事業」で、クリスマス時期に赤ちゃんを迎えてお祝いしている。(沢地子ども会)</p> <p>□昨年度、光ヶ丘白光会では、沢地小児童クラブと11月から4回交流を行なった。低学年の30人ほどの児童と、輪投げや紙芝居、凧揚げ等を実施。子どもは新鮮に感じるのか大変喜んでくれ、やって良かったと思う。</p>	<p>□大人も子どもも両方ハッピーになる。そういう交流が地域で盛んになればいいと思う。</p>	<p>老人会</p>	<p>⇒◆祭りや子ども会の活動で、地区を越えたつながりがある。</p>
<p>○3年前に光ヶ丘市営住宅の子どもがいなくなり抜けてしまい、今は6町内会で運動会実施。野菜取り競争、パン食い競争など。(スポーツ推進委員)</p> <p>○運動会参加を促すために、子ども会と役員会を実施。(体育振興会)</p> <p>□毎月1～2回、日曜日にトリム事業を実施しているが、参加が少ない。親が参加しないと子どもも参加しない。そもそもトリム事業を親が知らない。また回覧板は親が見るだけで、子どもは見ない。(体育振興会)</p> <p>◇◆運動会への参加者は減小している。雨だとメンテナンスが大変なため、今年玉入れと綱引きは変更した。(体育振興会)</p>	<p>○運動会に嫌々参加していた人も来たら楽しくやっている。無理やりでも参加してもらったほうが良い。</p> <p>○子どもを出席させれば、親も来ると思う。</p> <p>○運動会をもっと宣伝したい。</p> <p>□周知方法について、少しずつ改善しないといけない。子どもではなく、まず親世代を巻き込み、子どもも巻き込んでいく方法がいいと思う。</p> <p>◆高齢者と子どもが交流する競技を検討したが、難しい。</p> <p>◎健全育成会や保健委員との連携を考えると広がりが出る。</p>	<p>自治会</p> <p>自治会 体振会</p> <p>保健委員 健育会</p>	<p>⇒○参加促進のため、子ども会と運動会の役員会実施。</p>
<p>○子どもがいることが地域の元気の源になっていると思う。</p> <p>◇◆地域の人々との交流は子どもに必要。地域を愛するベースになる。地区の運動会や防災訓練などを実施。(沢地小)</p>	<p>○子どもが地域とつながる場を作っていきたい。</p> <p>○◇地域の方を講師として学校に招いたり、地域に子どもを送り出していきたい。</p> <p>◆沢地地区の豊かな自然環境(ホテル等)も活かしたい。</p>	<p>小学校</p>	

現況	課題	担い手	結果・実績
<p>□地域には、定年退職された有能な方が多くいる。そういう方の能力を使わない手はない。</p> <p>□学校支援地域本部から、沢地小の支援要請案内(1.放課後の学習支援、2.花壇の環境整備、3.各種の補助作業)が全戸配布されている。</p> <p>◆「子育て支援ボランティア事業」で、園にボランティアの方が来てくれると非常に助かる。(光ヶ丘保育園)</p> <p>□幼稚園や小学校で絵本の読み聞かせを行なっている。働いている母親が増えていることもあり、地域の方が少し参加してくれている。</p> <p>□子どもは縦(異学年など)のつながりと、横(地域や団体との係わり)のつながりが、成長に欠かせない。地区には色々な学校サポート、子どもサポートなどの交流の場があるが、それらがばらばらに点在している気がする。何かやりたいと考えてくれている方は多く、その声が沢地小学校に届く。</p>	<p>□暇になってきた団塊世代の方を活用し、子どもとの交流の場をどんどん増やしていくことは重要だと思う。地域の活性化にもなる。</p> <p>□ぜひ自治会等で取り組むなど、応募していただきたい。</p> <p>◆たくさんの方に来てほしいので、「子育て支援ボランティア事業」を広く知らせてほしい。</p> <p>□もう少しオープンにして、多くの方が参加できる仕組みがあるといい。</p> <p>□地域の交流の場を図にしてみるといいかもしれない。色々な集まりがあること、全体像がわかる。この団体はこの団体と一緒に活動してみようなど、発展があるかもしれない。</p>	<p>校区全体</p> <p>保育園市</p> <p>各団体</p>	
<p>□子どもが幼稚園や小学校で、老人ホームや作業所を訪問し、交流を楽しんでいるが、単発で終わってしまう。</p> <p>□施設側(老人ホームなど)は、多分、子ども達が来てくれることを望んでいる。ボランティアの人数が多くなると、大きい施設でないと受入れは難しいと思うが、</p>	<p>□入所されている方に、子どもが得意なピアノを弾く、話をする等の気軽に参加できる、ボランティア活動のニーズ・情報があればいいと思う。</p> <p>□少人数ならば、日程が合えば、どこでも喜んで受け入れてくれる体制になっていると思う。</p> <p>□当たって砕けろで足を延ばせば、交流の機会が生まれるかもしれない。</p>	<p>校区全体</p>	
③子ども会の存続			
<p>○光ヶ丘3丁目は人数減少で子ども会がなくなり「子どもの会」ができた。歓送迎会、夏祭りへの参加などが主な活動。</p> <p>○沢地子ども会は小学生32世帯46人全員が入会。個々にお問い合わせすると引き受けてくれるが、役員決めは毎年思うようにいかない。</p> <p>○光ヶ丘1丁目子ども会は少子化の影響で、小学生19世帯26名しか入っていない。入会は強制ではないので、役員をやりたいくないなど親の事情で入らない世帯もある。</p> <p>◇沢地小校区は、現在子ども会が4つしかない。3つ消滅してしまった。</p> <p>□行事が負担になったり、クラブチームや習い事で土日に出られないからと退会される。</p> <p>□役員は6年生の親がやるが、4人しかおらず、全員フルタイムで働いている。その中で子ども会を運営していくのはとても大変。</p> <p>□核家族が増えているので、子ども会役員は火の車状態。子どもには色々なことをさせてあげたいという葛藤の中、活動している。</p> <p>□自分が子どもだった頃、子ども会はずごく楽しかった。地域の方にも古紙回収等いつも協力していただき、とても大事な活動だと思う。色々な面で地域の方には感謝している。</p> <p>□子ども会や消防団を担う現役世代は仕事をしているため、行事に参加しにくい。仕事や家族との関係もある。入会することで責任を負う。</p>	<p>○もっと他地域と交流できる活動を、各町内会と相談して考えていきたい。</p> <p>○◇共働き世帯も増加。子ども会役員の負担を軽減していきたい。</p> <p>◎老人会に子どもを預けるなど、他団体との連携が重要。</p> <p>◇廃品回収は子ども会の大切な資金源。協力をお願いしたい。</p> <p>□日々の生活の中で子どもたちと楽しく過ごせるように、でも無理のないよう簡単に役員の皆で活動したいと思っている。</p> <p>◎北小ではPTA育成部長が子ども会地区長を兼ねていて、ドッジボール大会はPTAと子ども会が共催している。ぜひPTAと地域の皆さんで子ども会をサポートすることを検討してほしい。</p> <p>□地域の皆さんから「子ども会が必要だ」という、当たり前のことを言ってもらいたい。そうすれば子ども会に入るようになると思う。黙っていても皆が入会するようになればいいと思う。</p>	<p>自治会 子ども会</p> <p>各団体</p> <p>校区全体</p>	<p>⇒○子ども会がなくなり、「子どもの会」を作った。</p>

	現況	課題	担い手	結果・実績
	<p>◇今年初めて、子どもポータルサイトを活用し、三島市全体の子ども会活動を幅広くPRする。(三島市子ども会連合会)</p> <p>◇指導者養成部に参加し、子ども会を支えていくリーダーを養成している。(三島市子ども会連合会)</p>	<p>◇子ども会活動の宣伝は画期的なこと。たくさんの方にPRしていきたい。</p> <p>◇もっと地域の方と子どもたちが、ふれあえる活動を組み込んでいきたい。(三島市子ども会連合会)</p>	<p>市子連</p> <p>各団体</p>	<p>⇒◇市全体の子ども会活動を幅広くPRする。</p>
3. 高齢者				
①高齢者の見守り体制				
	<p>◇沢地地区は高齢化が進んでいる。高齢者の比率は各地区で高い。</p> <p>◆地域の行事が優先になってしまい、高齢者組織の有無や具体的な見守り等は手つかずの状態。(富士見台)</p> <p>◇防犯パトロールをしながら、高齢者の一人暮らしの家を見守っている。</p> <p>◇平日昼、適度に様子を伺ってくれる人がいる。(光ヶ丘市営住宅)</p> <p>◆見守り内容をわかりやすくしたチラシを全世帯に配布した。</p>	<p>◇高齢者の対策が必要。</p> <p>◆近所の気遣いや、組長による回覧版の手渡しなどの意見がある。</p>	<p>自治会</p>	<p>⇒◆見守りのちらしを全世帯配布。</p>
	<p>◇民生委員に相談したが、町内会とのやり取りがない。(光ヶ丘3丁目)</p> <p>□高齢者は民生委員の方とは話しやすいのかなと思うが、民生委員2人で500戸ほどを見るのはおかしい。</p> <p>◇今年子どもと高齢者が最大のテーマ。(富士ビレッジ)</p> <p>◆高齢者は各組長が把握。今のところ悪い事例はない。(光ヶ丘1丁目)</p> <p>◆組長が一番高齢者の情報を把握している。(富士ビレッジ)</p> <p>◇◆一回目トークに出席後、高齢者の把握を開始した。(沢地)</p>	<p>◇民生委員と町内会のつながりが必要。</p> <p>□自治会と民生委員が連携して、実態を把握するのが第一だと思う。隣近所でサポートするのもいいと思う。</p> <p>◇民生委員、自治会、地域包括支援センターが柱となり、警察と連携をとりつつ、高齢者を見守りたい。</p> <p>◇地域包括センターに頼んで認知症や高齢者に関するセミナーを開き、住民の方に意識を持ってもらう。</p> <p>◆組長にそれとなくの見守りをお願いし、何かあれば三役に連絡してもらう。</p>	<p>自治会 民生委員</p> <p>各団体</p> <p>自治会</p> <p>自治会</p>	<p>⇒◆組長が高齢者を把握。</p> <p>⇒◇◆トーク後、高齢者の把握を開始した。</p>
②高齢者の地域交流				
	<p>◇トリム事業のミニテニスに70歳以上の方が毎回参加されている。(体育振興会)</p> <p>◆昔の遊びや戦争体験などを小学校で話してもらおうと、子ども達にとってプラスになる。(沢地小)</p> <p>◆光ヶ丘3町内で月に1度「ほほえみサロン」を民生委員6名が実施。15~30人と参加者が少ない。(民生委員)</p> <p>◆高齢者のひきこもり対策を教えてください。</p> <p>◎徳倉2丁目や若松町の集会場、芙蓉台の食事会等が参考になる。町内の実態にあった工夫が高齢者の見守りにつながる。</p> <p>□1月からコミュニティカフェを開催。13人程のスタッフ(ボランティア)が月に一回実施している。集会場で10~15時まで開店して、コーヒー・お茶などを出し、お菓子を食べたり、100円会費でやっている。平均30人前後が集まり楽しんでいる。(富士ビレッジ)</p>	<p>◇トリム事業を高齢者の健康づくりの場・きずなづくりの場として利用し、各町内会の会議などでPRして欲しい。</p> <p>◆小学校でお年寄りとのふれあいの場を設置する必要がある。</p> <p>◆「ほほえみサロン」へのお年寄りの参加を増やしたい。</p> <p>◆集まる場があること、その情報を発信し続けることが大事。</p> <p>□マジックのイベントなど行くと、人が集まりやすい。これからどうやって続けていこうかということはあるが、とりあえず続いている。</p>	<p>自治会 体振会</p> <p>小学校</p> <p>民生委員</p> <p>市</p> <p>自治会</p>	<p>⇒□月に一度のコミュニティカフェを始めた。</p>

現況	課題	担い手	結果・実績
③老人会の活動			
<p>◇白光会は会員50人で平均年齢75.5歳。月1回の研修会、親睦会、歌・踊りなど色々な活動をしている。</p> <p>◇子ども会と夏休みに輪投げを予定している。(光ヶ丘白光会)</p> <p>◇夏祭りで白光会の方に踊りのお手本を踊ってもらおう。お年寄りと子どもの良い交流の場。(光ヶ丘市営住宅)</p> <p>◇歌、飲み、温泉に行くなど色々な活動を活発に実施。(千枚原千寿会)</p> <p>◆老人会の名称が嫌がられている。</p> <p>◎今は老人会と呼ばず、シニアクラブと呼んでいる。</p> <p>◆自治会役員が老人会に入会しているので、横の連携ができています。(千枚原千寿会)</p> <p>◆老人会が毎月花壇の整備等を行なってくれるので、助かっている。(環境美化推進員)</p> <p>◇◆老人会は現在、実質的な活動がほとんどない状態。班会議で対応を協議中。東大場は老人会活動が活発なので情報が知りたい。(富士見台)</p> <p>□富士ビレッジの老人会もつぶれて、再建することを検討したが難しい。佐野見晴台ではやはり老人会が解散して、各サークルの連絡会という形で老人会をやっている。入ると色々拘束されるので、市には入らない。ビレッジでもその方向でやってみたが、難しかったので、「三島のまちをゆっくり歩こう会」というサークルを立ち上げ、今40数名の方が参加。箱根方面を歩くのだが、初めて知る方との出会いが多くあった。</p>	<p>◇老人クラブは、個人で選択できる様々な関わり方やプログラムがあると良いのではないかと。(沢地小)</p> <p>◎東大場は花壇作り(地域の資産価値の維持につながる)やカラオケなど様々な活動を実施。ぜひ連絡を取り合ってほしい。</p> <p>□サークル、趣味の集まりも大切ではないかと思う。</p> <p>□サロンなど、そういう場があることが気楽な交流を実現させる。ゆるいサークルというスタイルならば、活動しやすい。子ども会も今の提案を参考にされると、新しいやり方ができるかもしれない。</p>	<p>老人会</p> <p>老人会 子ども会</p> <p>自治会 老人会</p>	<p>⇒◇子ども会と夏休みに交流。</p> <p>⇒◇夏祭りの踊りを通して、子どもとのふれあい実施。</p> <p>⇒◆自治会役員と老人会に横の連携がある。</p> <p>⇒□老人会に代わるサークルを立ち上げた。</p>
4. 地域の連携			
①連携・仕組みづくり			
<p>○町内で一番問題となっているのは、少子高齢化の進行。</p> <p>○子どもが減っているが、若い人が三島に住んで家庭を持つようにするために、子どもを育てやすいまちを作っていくべきである。(女性懇話会)</p> <p>○仕事、子育て、校区の行事も多く町内行事に出席できない。力になりたいが、忙しくてできない。</p> <p>◇世帯数が160前後でまとまりがある。各組長が組を把握し、その情報を活用している。組長紹介や会合もある。(千米原)</p>	<p>○留守家族、町内会を抜きたい世帯、空き家の増加が課題。</p> <p>○自治会役員の子世代交代を図りたい。まずは若い人に役員会などに顔を出してもらいたい。</p> <p>◇若い世帯は何をすべきかを考え、若い世代から地域とのきずなを作っていくべき。</p>	<p>自治会</p> <p>自治会</p>	<p>⇒◇各組長が組を把握し、その情報を活用している。</p>
<p>◆入院、または所在がわからない留守宅がある。(光ヶ丘3丁目)</p> <p>◇◆今春火事があったが、要援護者の避難や消防への情報伝達等、地域住民の対応が素晴らしかった。地域のつながり、お互いの把握ができています。(富士見台)</p> <p>◇ビレッジにある12の市民活動の全会長が集まった。普段から交流することによって情報交換、見守りができる。(富士ビレッジ)</p>	<p>◆近所の方は火事などが不安。対応できないか。</p> <p>◇中心になる方を一人か二人お願いし、相談していく体制を築きたい。サークル活動も活発化させていきたい。</p>	<p>校区全体</p> <p>自治会</p> <p>自治会 各団体</p>	<p>⇒◇火事の際、隣近所で連携が取れていた。</p>

現況	課題	担い手	結果・実績
<p>□老人会も子ども会も自主防災会も同じで、なんとか存続しなくてはいけないけれど、どうしたらいいのかという状況。</p> <p>□千枚原では三島市子ども会連合会を脱会したが、子ども会は活動している。老人会も1つの老人会がなくなり、二つの老人会が北上老人クラブ連合会を脱会した状況だが、「連合会は抜けても芸能祭は出たい」、「よその老人会と一緒にやらせてくれないか」など、本来の交流は皆やりたいと思っている。</p> <p>□子ども会、老人会は今までの仕組みの中でどうしようかと頑張っている話が挙がった。</p>	<p>□お年寄りが頑張らないと地域が良くなっていかない。お年寄りが参加して、やりやすい会の方法を考える。どういう形でやっていくかが大事。</p> <p>□なぜ組織から抜けていくかをもう少し皆で行政も含めて考えて配慮していけば、良い地域ができていくと思う。</p> <p>□子ども会も老人会も地域に必要な組織。もっと自分達で気楽に、地域の特色を持ってやりたいという気持ちだと思ふ。それを考えていくべき。</p> <p>□今までの仕組みで考えるのではなくて、仕組みを見直してはどうか。</p>		
<p>◆市営住宅は、市とは別に毎月清掃活動がある。不参加者はお金を払うため、皆が参加する。顔を出しやすい機会になっている。(民生委員)</p> <p>▲ミックス古紙と新聞・ダンボール・アルミ缶は月に1度業者を呼んで回収してもらっている。町内の収入になるし、市からも補助金が出るので、他の町内もやった方がよい。</p>	<p>▲公園の手入れ(植樹や花壇づくりなど)を地域住民が市と協力して行なってはどうか。</p>		
②広域の活動			
<p>◇沢地は三島大社のお祭りは関係がない。(千米原)</p> <p>◆8 町内の盆踊り大会開催の提案をしたところ、小学校は下にあるが富士見台も光ヶ丘も高い所にあり、高齢者が参加できないのではという意見が多くあった。(富士見台)</p>	<p>◇まとまりのある活動が、これからの校区としての課題。</p> <p>◇8 町内合同で踊りや合唱など、きずなを深める行事が小学校でできないのか。(千米原)</p> <p>◆どんど焼きなど盆踊りの代わりに8町内で協力してできることを検討中。少しずつ積み重ねていき最終的に夏祭りが開催できれば一番いい。</p>	<p>校区全体</p> <p>小学校</p> <p>校区全体</p>	
<p>◆12 月、沢地地区を巡るウォークラリー大会開催予定。8 町内を把握する意味でも重要。(体育振興会)</p> <p>◆2 月、4 校区のソフトバレーボール大会開催予定。校区をこえた交流の良い機会になる。(体育振興会)</p> <p>△多くの子どもがサッカー、野球、バスケなどのリーグに参加していて、試合のために沢地小学校区の運動会や子ども会の行事に参加できない。</p>	<p>◆多数の参加をお願いしたい。</p> <p>◆ウォークラリー開催時、危険個所を考えてコース設定すると、健康プラス防犯・防災というプレミアがつくイベントになるのでは。(消防団)</p> <p>◆下見の際、危険個所の把握、変更点などを考えていきたい。(体育振興会)</p> <p>◆多数の参加をお願いしたい。</p> <p>△日程はあらかじめわかっているので、その日は試合を入れないよう配慮してもらえないか。</p>	<p>校区全体</p> <p>体振会</p>	<p>⇒◆沢地地区を巡るウォークラリー大会、4校区のソフトバレーボール大会開催。</p>